

令和4年度 事業報告

I 事業概要

令和4年度は、ウクライナ情勢や新型コロナの影響を受け、昨年度と同様、日本経済に限らず世界的に経済が低迷しました。

コロナ禍においては終息の兆しが見えはじめ、回復傾向にあるものの、まだ、当センターの事業運営に悪影響を及ぼし、その都度苦渋の判断に迫られた1年となりました。

このような状況下でも、事業の担い手となる会員数は、在籍会員による入会斡旋や各種の対策効果により、目標数500名(中期事業計画目標数480名)のところ490名(令和3年度473名、令和2年度440名)となりました。目標数は達成できなかったものの、中期事業計画に沿って順調に推移しております。

60歳以上の町人口に対する割合(粗入会率)は8.8%、会員数に対する女性会員の割合は44.3%となり、京都府下ではもちろん、全国においてもトップクラスとなっています。これも、会員皆様の絶大なるご理解・ご協力によるものであり、厚く感謝申し上げます。

事業実績におきましては、目標契約金額2億6千5百万円(請負2億2千5百万、派遣4千万円)のところ2億4千5百10万円余り(請負2億5百20万円、派遣3千9百86万円余り)となりました。コロナ禍等の悪条件の影響を大きく受けながらも、対前年度比5百4万円余りの増収で、102.1%の達成となりました。

これは15年連続で対前年度を上回るもので、毎年確実に成長を遂げており、地道で適正な運営を果たすことができました。

また、安全就業において、「無事故」を目指しておりましたが、結果、昨年度同様、5件の事故が発生しました。今後において、会員一人一人に注意喚起を行い、引き続き、「事故ゼロ」を目指した取り組みを強化していく必要があります。安全就業の徹底に努めてまいります。

主たる事業概要は以上のとおりです。

経済低迷の現状から、当センターも「with コロナ」を掲げ、経済回復への波に乗れるよう、オールシルバー一丸となって頑張っていかなければなりません。

会員各位のなお一層のご協力の程、よろしく願いいたします。

II 事業結果

項目	目標数値	令和4年度実績	昨年度(令和3年度)実績	前年比
正会員数	500名	490名	473名	17名増
安全就業	無事故	傷害事故2件 賠償事故3件	傷害事故2件 賠償事故2件 車両事故1件	—
受託事業(請負・委任)				
①受託件数	—	2,359件	2,324件	35件増
②受託契約金額	225,000千円	205,260千円	200,704千円	4,556千円増
就業実人員	—	357人	366人	9人減
③就業延実人員	—	47,019人日	46,504人日	515人日増
派遣事業				
④派遣件数	—	205件	232件	27件減
⑤派遣契約金額	40,000千円	39,867千円	39,379千円	488千円増
就業実人員	—	48人	48人	—
⑥就業延実人員	—	6,940人日	6,969人日	29人日減
件数合計 (①+④)	—	2,564件	2,556件	8件増
契約額合計 (②+⑤)	265,000千円	245,127千円	240,083千円	5,044千円増
就業延人員合計 (③+⑥)	60,000人日	53,959人日	53,473人日	486人日増

III 事業実施結果

1 会員の拡大をめざして

本年度正会員登録目標数「500名」の達成を目指して、会員・役職員が一丸となって取り組みました。

主な活動内容は次のとおりです。

- (1) 「会員拡大推進員」制度のより効果的な活動の検討と実施
 - ・個々の会員より、入会意思があるかなどの情報収集活動に努めた。
- (2) 会員及び役員による「シルバー協力隊(取次所)」の実施
 - ・事務局に事業担当推進員を配置し、円滑に活動するよう努めた。
 - ・会員47名が協力隊として取次ぎ活動を行った。
 - 結果、21名の方が入会された。
 - ・「会員紹介に対する協力者への活動費の支給」を実施
 - 結果、会員の紹介により13名の方が入会された。
- (3) 個人商店と協力関係を結ぶ「シルバー・パートナー・ショップ」の実施
 - ・事務局に担当推進員を配置し、円滑に活動するよう努めた。

- ・個人商店へ訪問し、看板設置や、会員特典の協力依頼をした。
結果、会員特典有の店舗 2 件、看板設置の店舗 12 件、計 14 件となった。

(4) シルバー広報板の活用

- ・現行の看板を新たなものに取替え、貼替作業の効率化に努めた。
- ・当センターの宣伝の場として主に会員獲得を目的に PR 活動に努めた。
7 月、1 月の 2 回掲示物を更新した。
- ・当センター理事所有地（佐山双置の府道沿い）2ヶ所の巨大看板による宣伝活動をし、内 1 か所の内容を変更し、新たな視点で勧誘活動に取り組んだ。
- ・センター事務所外壁に、四季に合わせた「会員募集宣伝幕」を取付け PR した。

(5) ふれあいを求め、気の合う仲間との場を希望される会員のための、居場所の提供
「なんでもサロン（映画鑑賞）」、「クラフト手芸講座」を 1 年度間、毎月予定し開催した。しかし、諸事情により中止にした月もあった。

- ・「なんでもサロン」 12 回開催 参加者延べ数 17 名
- ・「クラフト手芸講座」10 回開催 参加者延べ数 145 名

(6) 会員「^{とくべつで}特・^{おとくな}得」サービスの実施

- ・全会員へ「バースデーカード」の送付。バースデーカードを持って来所された会員にはプレゼントを贈呈した。
- ・2023 年版（令和 5 年）カレンダーを作製し事務所にて配布した。

内 容	同居特得	仕事依頼特得	来所特得
実 績	35 組	37 件	30 件

(7) その他の活動

- ・巨大チエブクロー（バルーン）をイベント時に活用した。

【参考：入会者の経路】

入会経路の理由	男	女	合計
会員による紹介	6 名	7 名	13 名
シルバー協力隊	10 名	11 名	21 名
センターの広報資料（立て看板・チラシ等）	8 名	4 名	12 名
公共機関を通じて	2 名	3 名	5 名
その他（発注者等からの紹介）	3 名	3 名	6 名
合 計	29 名	28 名	57 名

2 事業の拡大をめざして

本年度契約金額目標額「265,000 千円」（内訳：請負・委任 225,000 千円、派遣 40,000 千円）の達成を目指して取り組みました。

新規契約があったものの、目標額を達成することができませんでした。しかし、どのような状況でも柔軟に対応することを心掛け、その結果、昨年度の実績を上回ることができました。

主な活動内容は次のとおりです。

(1) 新たな就業先の開拓並びに事業と要員の受託を目指した営業活動の実施

- ・事業部会員及び事務局による既存先への訪問を実施した。
(訪問件数：長期契約先 42 社)
- ・迷惑をかけないように、会員の就業体制等を考慮して対応した。
- ・会員の事由による急な就業辞退の申し出に対しては、迅速な対応を心掛けた。
- ・新規の依頼に対しては、商機を逃さないよう積極的に対応した。

- (2) 「就業開拓推進員」の検討と実施
 ・会員拡大を優先することから、活動は控えることとなった。
- (3) 会員の「口コミによる」営業活動の実施
 ・会員からの紹介で、一般家庭の単発作業を行った。
- (4) 既存先と更なる信頼関係が築ける活動の実施
 ・労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律第26条第7項に基づき、比較対象労働者の待遇等に関する情報提供を基に契約した。
 ・京都府最低賃金単価の改定に伴い、令和4年10月1日以降について、配分金単価の改定を行い契約した。
- (5) 久御山町等関係機関に対して新たな発注への提言・要望活動の実施
 ・町及び議会に要望活動を行った。
 ・事務局による既存先への訪問を実施した。

開催日等	内 容 等
11月10日(木)	久御山町へ要望活動 出席者：理事長、事務局長、事務局
11月14日(月)	支援のお願い(町要望書写しの提出) 久御山町議会 出席者：理事長、事務局長、事務局
1月 4日(木)	年始 挨拶まわり 出席者：理事長、事務局長、事務局

本年度の受託並びに派遣事業実績は次のとおりです。

【請負・委任事業実績】

区 別	項 目	本年度(R4)	規 模	前年度(R3)	規 模	前 年 比
公 共	受託件数(件)	394	16.70%	396	17.04%	2 減
	契約金額(円)	26,544,026	12.93%	28,595,616	14.25%	2,051,590 減
民間企業	受託件数(件)	1,443	61.17%	1,441	62.00%	2 増
	契約金額(円)	170,912,692	83.27%	163,595,190	81.51%	7,317,502 増
一般家庭	受託件数(件)	457	19.37%	437	18.80%	20 増
	契約金額(円)	7,738,479	3.77%	8,455,995	4.21%	717,516 減
ワンコイン	受託件数(件)	65	2.76%	50	2.15%	15 増
	契約金額(円)	64,500	0.03%	57,000	0.03%	7,500 増
合 計	受託件数(件)	2,359		2,324		35 増
	契約金額(円)	205,259,697		200,703,801		4,555,896 増

【派遣事業実績】

区 別	項 目	本年度(R4)	規 模	前年度(R3)	規 模	前 年 比
公 共	派遣件数(件)	60	29.27%	79	34.05%	19 減
	契約金額(円)	10,584,364	26.55%	11,019,563	27.98%	435,199 減
民間企業	派遣件数(件)	145	70.73%	153	65.95%	8 減
	契約金額(円)	29,282,945	73.45%	28,359,652	72.02%	923,293 増
合 計	派遣件数(件)	205		232		27 減
	契約金額(円)	39,867,309		39,379,215		488,094 増

3 会員の就業機会の適正化をめざして

- (1) 「適正就業ガイドライン」を活用して、会員及び発注者に適正な就業方法等の周知徹底を図る。
 - ・新入会員説明会時や、発注者との面談時に活用し、周知に努めた。
- (2) 会員の実態に見合った、適材適所という意味での公平な就業機会の提供
 - ・発注者からの依頼に対し、速やかに現場確認を行い、就業条件に適した会員を紹介できるよう努めた。また、発注者の意向に寄り添った会員の配置を行った。
 - ・会員からの相談（仕事等の相談）に対し、出来る限り寄り添い、対応することを心掛けた。
 - ・センター事務所内の掲示板に、常時「お仕事の紹介」を掲示して、就業機会の提供に努めた。
 - ・新入会員へは、直ちに仕事の提供を行った。
 - ・会員募集チラシを全戸に配布した。（1月）
- (3) 未就業会員に対する積極的な就業機会の提供
 - ・仕事ができない理由の把握に努め、定期的に連絡を行う等、優先的に仕事の提供を行った。
- (4) 会員のスキルアップを目指した講習会の実施。また、全会員に対し、就業に関わる意向調査の実施

講習会等名	開催日	受講者数
植木剪定スキルアップ講習会 (京田辺市 SC 主催)	8月1日	植木剪定班2名 事務局1名
植木剪定講習会 (久御山町 SC 主催)	2月1日～2月3日	植木剪定班4名

【事業別会員別就業実人員数及び未就業会員数】

区別	会員数	就業実人員数 (受託)	就業実人員数 (派遣)	就業実人員数 (全体)	未就業会員数
男	273人	199人	31人	221人	52名
女	217人	158人	17人	167人	50名
合計	490人	357人	48人	388人	102名
割合	—	72.9%	9.8%	79.2%	20.8%

参考 昨年度(令和3年度)は、490人の会員に対し404人(82.4%)が就業されています。

4 職域班の充実をめざして

センターの就業は、会員の「自主・自立、共働・共助」を基本としており、より安全な作業遂行と事業効果を高めるため、事業区分に応じて職域班を設置している。

職域班の更なる円滑な運営体制づくりとして、自主的に「班会議」を開催され、現状と課題の把握に努め、班員間の意思疎通が図られ、より良い仕事ができるよう班体制の強化を進めた。

- (1) より円滑な運営体制づくりとして複合班から単体班への移行を図る。
 - ・今年度は現状維持となった。
- (2) 班長としてのやりがいを見出し、班長手当制度の導入を検討する。
 - ・部会で検討を重ね、来年度導入に向けての準備を行った。
- (3) 後継者の育成
 - ・各単体班において就業希望者が見つからず、後継者育成まで至らなかった。

【職域班設置状況】（令和5年3月31日現在）

○ 単体班（設置数9）

班番号	職域班名	主な作業内容	登録者数（人）
1	植木剪定班	植木の作業に係ること全て	7
2	除草班	除草の作業に係ること全て	9
3	はりはり工房班	建具の張替え等	4
4	公共清掃班	公共施設(屋外清掃等)	9
5	イオン班	カート等の整理・回収	26
6	ヤマト班	メール便の仕分け	12
7	ゆうホール班	施設の清掃	9
8	荒見苑・中央公園班	施設の清掃	8
9	平和堂(間口)班	クレート整理作業	13

○ 複合班（設置数8）

班番号	職域班名	設置グループ数（件）	登録者数（人）
10	自動車運転班	⑨公共1、⑨企業6	計13
11	技能・技術班	⑨企業3	計3
12	事務・管理班	⑨企業17、⑨公共6、⑨企業1、⑨公共4	計80
13	清掃班	⑨企業54、⑨公共2、⑨企業1	計104
14	軽作業班	⑨企業15、⑨家庭2、⑨公共2、⑨企業5	計81
15	内職班	⑨企業4	計23
16	家事援助班	⑨家庭4	計3
17	ボランティア班	就業を希望しない	—

※⑨は「請負」、⑨は「派遣」

【職域班会議の開催状況】

職域班名	開催日
植木剪定班・除草班	4/6（合同開催）
植木剪定班	5/11、6/1、7/6、8/3、9/2、10/5、10/21、11/2、12/2、1/13、2/8、3/8
除草班	5/13、6/3、7/8、8/5、9/7、10/7、11/4、12/7、1/18、2/10、3/3
公共清掃班	10/7、2/3
イオン班	3/9、3/10
間口(平和堂)班	4/19、20

5 会員間及び地域におけるネットワーク形成をめざして

(1) 地域班活動の推進を図る

- ・班長会議を2回開催し、活動推進に取り組んだ。
- ・「おしゃべりサロン」を開催した。

開催日等	内容等
4月1日(金)	地域班班長会議（委嘱状の交付等）
5月26日(木)	おしゃべりサロン（御牧校区）参加者：13名
9月22日(木)	おしゃべりサロン（東角校区）参加者：7名
10月3日(木)	地域班班長会議（上半期報告等）
1月20日(木)	おしゃべりサロン（佐山校区）参加者：7名
3月9日(木)	おしゃべりサロン（東角校区）参加者：7名

(2) ボランティア活動の実施

- ・町内交番（2か所）周辺、まちの駅クロスピア周辺の美化活動、及びワンコイン無料月間（11月）を実施し、地域に貢献した。

開催日等	内 容 等
10月27日(木)	「ボランティア活動」美化及び普及啓発活動 参加者：43名
11月（月間）	ワンコインサービス無料月間（60歳以上の世帯・1回のみ利用） 利用実績：22件

(3) シルバー主催イベントの実施

- ・新たなイベントも含め、実施した。

開催日等	内 容 等
10月22日(土)	シルバー・スポ・フェス 参加者：38名
11月20日(日)	紅白歌合戦 出場者：8名 観覧者：31名
12月16日(金)	会員日帰り親睦旅行（淡路島方面） 参加者：45名

(4) 高齢者向け各種講座の実施（高齢者活躍人材確保育成事業の活用）

- ・スマホ講習会を年12回開催した。（参加者延べ数41名）
- ・高齢者活躍人材確保育成事業として、町広報紙（1日号）への有料広告の掲載（4月・10月）と「60歳からのいきいきシニアセミナー」を実施した。（セミナー参加者：一般5名、会員2名）

(5) 独自事業の検討

- ・介入できる事案が見つからず、検討に至らなかった。

(6) 久御山町及び山城地域 SC との連携と積極的な活動を展開する。

- ・久御山町と連携を図り、活動を実施した。

開催日等	内 容 等
5月18日(水) 6月22日(水) 10月24日(月) 11月14日(月) 12月19日(月) 1月23日(月)	生活支援体制整備事業調整会議 出席者：事業課長他
1月 4日(水)	年始 挨拶まわり 出席者：理事長、事務局長、事務局
1月 6日(金)	新春のつどい（賀詞交歓会） 出席者：理事長、副理事長、事務局
10月28日(金)	ふれあい福祉まつり出店（クラフト作品販売及び普及啓発活動） 参加者：会員3名 事務局2名 実績：89点販売
1月 31日(火)	人権啓発研修会 出席者：役員3名
1年間	「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」センター事務所垂れ幕 【大切な人・久御山町を守るため 打倒!! 新型コロナ】

- ・山城地域 SC との連携を図り、活動を実施した。

主 催	内 容 等
山城拠点シルバー人材センター 連絡会	事務局職員会議の開催（計5回） 日：7月7日(木)、10月6日(木)、11月10日(木) 12月9日(金)、1月26日(木)、3月24日(金) 会員日帰り旅行（長浜方面） 日：3月3日(金) 参加者：11名

6 組織運営の改善と収支バランスの継続をめざして

- (1) 法人組織の最高決議機関である総会で、出席率の向上を図り、全会員が意思表示できるよう、引き続きその趣旨を徹底し、周知の具体策を徹底する。
 - ・定時総会は3年ぶりに制限なく開催することができ、当日の出席者の増員を目指したが、参加を自主的に控える傾向もあり、出席率の向上には至らなかった。
 - 6月10日(金)に開催された定時総会は、構成員総数453名の内、出席者は会員24名(役員14名)、委任状提出者308名、書面評決提出者6名、出席者合計338名(役員含まない)で、出席率は74.6%という結果であった。
- (2) シルバー事業の課題等を専門的に行う、総轄委員会及び総務部会・事業部会の取組みを積極的に推進し、より理事会機能を充実させ、法人運営や管理の効率化を図る。
 - ・委員会及び各部会を毎月開催し、常にシルバー事業の課題改善に取り組んだ。
- (3) 第2次中期事業計画の中間期を迎えるに当たって、進捗状況を把握し、検証する。
 - ・11/11に策定会議を開催し、進捗状況及び計画の見直しについて検討した結果、見直しは行わず、現行通りとなった。
- (4) 安定的な事業運営の継続を図るため、久御山町等機関に対し、財源確保の要請を強く行う。
 - ・町及び議会に要望活動を行った。

開催日等	内容等
10月6日(木)	京都府へ要望活動 出席者：理事長、事務局長
11月10日(木)	久御山町へ要望活動 出席者：理事長、事務局長、事務局
11月14日(月)	支援のお願い(町要望書写しの提出) 久御山町議会 出席者：理事長、事務局長、事務局

- (5) 収支バランスの為の基盤づくりを継続する。
 - ・契約金額は目標値を下回ることとなったが、支出においては、必要最小限の事業遂行に応じ、適切に対応した結果、昨年度より収益増となり、将来必要となる資金の準備を着実にを行った。
- (6) インボイス制度導入に生じる新たな経費負担の検討
 - ・総務部会及び総轄委員会で検討し、財源確保のための方針を決定した。今後、関係先に周知を図っていく。
- (7) 事務局体制について、事務の適正化や効率化の推進に努め、更なる職員の育成を図る。また、管内及び管外の職員研修会・講習会等に積極的に参加し、研鑽に努める。
 - ・事務局体制の大幅な変更に伴い、新たな編成をし、運営に支障がないように努めた。又、新たな職員の育成にも取り組んだ。
 - ・管内・管外の研修会・講習会に参加した。

開催日等	内容等
5月24日(火)	令和4年度京都府企業内人権問題啓発セミナー (出席者：事務局長)
7月15日(金)	人権研修会(京都府山城振興局主催・山城管内) (出席者：役員8名 事務局2名)
8月18日(木) 23日(火)	(NRI) 社会情報システムユーザー研修会(オンライン研修) (出席者：事業課係長、事業課主査、事業課員)
8月29日(月)	令和4年度京都府企業内人権問題啓発セミナー (出席者：事務局長)

開催日等	内 容 等
9月13日(火)	安全運転カレッジ (出席者：総務課課長、事業課係長)
9月21日(水)	令和4年度近シ協管内事務局職員研修会 (出席者：総務課課長、事業課課長)
9月27日(火)	派遣元責任者講習 (出席者：事業課係長)
10月17日(月)	(全シ)適正就業担当者会議 (オンライン会議) (出席者：事業課課長、事業課係長、事業課員)
10月19日(水)	令和4年度京都府企業内人権問題啓発セミナー (出席者：事務局長)
2月 1日(水)	令和4年度補助金業務担当者会議 (出席者：総務課長、総務課員)
2月13日(月)	人権研修会 (府シ連主催) (出席者：役員7名 事務局4名)
3月 1日(水)	令和4年度派遣事業研修会会議 (出席者：事業課係長)
3月3日(金)～	シルバー事業情報交換会議 (オンライン会議) (視聴者：総務課長、職員1名)

IV 安全就業をめざして

"安全は、就業の全てに優先する"を合言葉に、無事故を目指し取り組みましたが、残念ながら事故が発生しました。

- (1) 「安全就業担当推進員」による、日常作業において、班員一人ひとりの安全就業意識の向上に努める。
 - ・「安全就業担当推進員」を9名に委嘱し、安全意識の向上に努めた。
- (2) 安全就業に関し、「報告・連絡・相談」を徹底し、早期解決に努める。
 - ・就業者全員に、就業前の「体調確認」(自己診断)及び、就業中等の「ヒヤリ・ハット」を記載する「安全就業チェック表」の提出を義務付け、日常の安全管理に努めた。
- (3) 安全就業大会の実施
 - ・安全就業大会の開催 (1月27日(金)開催：出席者31名)
 内容 自転車安全運転講習会
 講師 マーシュ総研株式会社 TRM 営業本部マネージャー 中尾 久和 様
 マーシュ総研株式会社 営業部1課 小西 俊廣 様
 - ・(公社)京都府シルバー人材センター連合会主催「安全・適正就業推進大会」への参加 (7月19日(火)、理事長、事務局他)
 - ・「安全・適正就業大会」に伴い、会員より安全標語を募集し、2作品を推薦した。
 「きのうの安全を今日に繋げ あしたの安心を心掛けよう」(M氏)
 「事故起こってからではもう遅い 就業前に安全点検を」(N氏)
 - ・全シ協「シルバー人材センター安全就業スローガン」の募集に伴い、会員より募集し、2作品を推薦した。
 「安全を心掛けている貴方は超一流」(H氏)
 「安全は家族の笑顔も守ってる」(S氏)

(4) 安全就業パトロールの実施

・10月の間、部会員及び事務局担当者が「安全就業パトロール」を実施した。

10月5日、11日、21日、25日（9ヶ所で実施）

各現場とも、安全就業に対する意識はみられたが、不安全な状態での作業や、一瞬の気の緩みで、大事故に繋がる恐れのある現場もあったので、その都度、就業会員には安全に作業するよう指導した。

(5) 安全だよりの発行

・年4回発行し、会員に配布した。（4月、7月、11月、2月）

(6) 安全保護具の強化

・安全帽、ヘルメットを確保した。

・作業機械等の不具合や故障に対し、可能な限り迅速に対応した。

(7) 万が一、事故が発生した場合、その事故に対する「原因と分析」並びに、情報提供の方法を確立する。

・事故の案件を取りまとめ、原因の究明や事故防止について検討した。事故内容は以下のとおりです。

【傷害事故報告】 事故2件

発生日	年齢	性別	発生状況		事故発生状況等	保険受取金
4月	73	男	午前	就業中	カート置き場からカートを移動中、右折してきた車両と接触した。 左足打撲 通院1日	2,000円
6月	70	男	午前	就業中	発注者様宅の庭で生垣を電気バリカンで剪定していたところ、生垣の中から蜂が飛び出してきて右手の甲を刺された。 通院2日	4,000円

【賠償事故報告】 事故3件

発生日	年齢	性別	発生状況		事故発生状況等	弁償金
4月	83	男	午後	就業中	カート整理作業中、前方で入庫車があり3台の車が急停車した為、急いでカートを止めたが間に合わず、前方の車両の後部に接触した。	32,890円
8月	84	男	午前	就業中	就業先（個人宅）にて除草作業中、ハンマーナイフ（草刈機）の飛石で近くに駐車していた車両の窓ガラスを破損した。	130,768円
8月	73	男	午後	就業中	就業先（団地）にて除草作業中、刈払機を持ちながら移動する際に、駐車してあった車両の運転席側車体に衝突させ破損させた。	93,753円

【参考：過去5年間の事故発生状況】

(単位：件)

	令和4年度 (当該年度)	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
傷害事故	2	2	2	1	0
賠償事故	3	2	2	0	1
車両事故	0	1	2	2	0
合計	5	5	6	3	1